

# International Journal of Japan Association for Management Systems (IJAMS) 原著論文執筆細則

## (目 的)

第1条 本細則は International Journal of Japan Association for Management Systems (以下 IJAMS) 原著論文投稿規程の下位規定として、IJAMS の原稿執筆の方法について定める。

## (原稿の言語)

第2条 原稿は英語で記述する。

## (原稿の体裁)

第3条 原稿は Word あるいは LaTeX を使用し、A4 用紙に横書きで記述する。

2. 原稿を Word で作成する場合は、本学会ホームページ上の原稿作成フォームに基づき記述する。  
文字フォントは 10pt, 数式のフォントは 12pt 以下を用いる。
3. 原稿を LaTeX で作成する場合は、本学会ホームページ上に提供されているスタイルファイルに基づいて記述する。

## (原稿の構成)

第4条 原稿を記述する場合には、表題、著者名、要旨、キーワード、本文、注、参考文献の順に記述する。

## (表題, 執筆者名)

第5条 原稿には記述内容に適した表題を付ける。

2. 表題に副題を付ける場合には、主題の下に記述する。
3. 執筆者名には原則としてその所属（企業・大学等）を先頭に付ける

## (要 旨)

第6条 要旨は 100 語以内を原則とし 1 段組で記述する。

## (本 文)

第7条 本文は 2 段組で記述する。

2. 1 ページ当たり 38 行を原則とする。
3. 見出し記号

見出し記号には次のものを使用し、原則としてそれぞれ 1 行に書く。大見出しの上下は 1 行ずつの、中見出しの上は 1 行あける。

1. (大見出し)
- 1.1 (中見出し)

(1) (小見出し)

4. 文体・記号など

- (1) 文字および数字のフォントは、原則として Century または Times New Roman を使う。
- (2) パラグラフの先頭は 2 文字分の字下げを行う。ただし、各セクションの先頭のパラグラフでは字下げを行わない。
- (3) その他、英語表記の標準的な体裁に準拠する。

5. 数式

- (1) 数式は基本的に Word の場合は数式の入力機能と編集機能を使う。
- (2) 本文中に数式を記述する場合は、数式の前後に半角のスペースを設ける。
- (3) 本文とは独立させて記述した数式には、原則として式番号を付ける。式番号は、通し番号 (1),(2),(3),…として、式の右側に置く。行中に記述した数式には式番号は付けない。

6. 図、表

- (1) 本文には図、表を置くことができる。
- (2) 図や表は、原稿の電子データファイルに含める。
- (3) 図や表には、それぞれ figure 1, figure 2, …, table 1, table 2, …, のように通し番号を付け、その右側に 1 マス空けて図題や表題を記入する。
- (4) 図番と図題は図の下に、表番と表題は表の上に記入する。
- (5) 図や表は本文中にて引用する。引用は図番、表番によって行う。

(注の記述)

第 8 条 注の内容については、本条第 3 項のように本文の後にまとめて記述する。注の番号は、1,2, …のように本文中で通し番号とする。なお、本文と注の間は 1 行あける。

2. 注は本文中で次のように表記する。

例： One important point in employing regional resources<sup>1</sup> is to “value the points of views of outsiders.”

3. 注の記述例

**Notes**

<sup>1</sup> Content of note 1

<sup>2</sup> Content of note 2

(参考文献の記述)

第 9 条 参考文献は、注の後に、本条第 6 項に示す様式でまとめて記述する。参考文献の番号は、[1], [2], [3]…のように原稿中で通し番号とする。なお、注と参考文献の間は 1 行あける。

2. 参考文献は本文中で次のように指定する。

例： Principal factor analysis (PFA) is one of the calculation method of factor loadings in factor analysis [5].

3. 同じ文献を箇所を変えて引用する場合、「*op.cit.*」または「*Ibid.*」を使用する。
4. Web 上の資料を引用する場合は、その URL とアクセス日を明記する。
5. 参考文献の各項目の区切り記号は、半角コンマ「,」または半角コンマ+半角空白「, 」とする。また著者名の後の区切り記号は半角コロン「:」とする。

## 6. 参考文献の記述例

### References

- [1] P.Weill and J.W.Ross: *IT Governance*, Harvard Business School Press, 2004
- [2] T.W.Anderson : *An Introduction to Multivariate Statistical Analysis*, John Wiley & Sons, 557-563, 1971
- [3] *Ibid.*, 570-574
- [4] [http://www.jams-web.jp/\(2012/12/20\)](http://www.jams-web.jp/(2012/12/20))

### (原稿の提出)

第 10 条 投稿申込書, 正原稿 (図や表の原本を含む) を IJAMS 編集委員会に電子的に提出する.

### (最終原稿の提出)

第 11 条 投稿された (原著) 論文が受理された場合には, 指定のフォーマットに従った正原稿 (図や表の原本を含む) と原稿ファイルを IJAMS 編集委員会に提出する.

### (掲載料および別刷代)

第 12 条 IJAMS への掲載に当たっては, 著者は別表の掲載料金を支払うものとする.  
2. 別刷を希望する著者は, 別表の別刷料金を支払うものとする.

### (細則の変更)

第 13 条 本細則の変更は, 理事会において出席者の 2 分の 1 以上の承認を得なければならない.  
2. 本細則の内容および変更の検討は, IJAMS 編集委員会が執り行う.

### (施 行)

第 14 条 本細則は平成 27 年 1 月 23 日より施行する.

### (別 表)

IJAMS 掲 載 料 金 表

掲載料金	15,000 円
別刷代 (希望者のみ・郵送料別)	30,000 円 (100 部)